

令和2年度市民活動センター協働運営の状況について

1 相談機能

(1) 令和2年度相談件数(4月～9月)

昨年の上期に比べ、相談件数が38%(83件)減となった。特にセンター登録の相談が減っている。一方で助成金、組織運営の相談は前年と同程度あった。

新型コロナウイルスの影響により、登録など活動全般について考える団体は減り、団体の収入源等に対する助成金や団体の会計に関する相談が多くあったと見受けられる。

相談内容	登録団体	一般団体	市民・登録外団体	合計
ボランティア関連	0(3)	0(0)	6(17)	6(20)
市民活動団体を知りたい	0(1)	1(1)	6(22)	7(24)
センター登録 (団体登録に関する相談含む)	0(0)	0(2)	24(59)	24(61)
団体設立	0(0)	0(0)	3(3)	3(3)
NPO 法人設立	0(1)	0(0)	1(2)	1(3)
助成金	9(11)	0(0)	2(0)	11(11)
組織運営	14(3)	0(0)	1(5)	15(8)
協働	0(2)	0(0)	0(0)	0(2)
その他	5(12)	0(3)	31(26)	36(41)
フォロー	4(20)	0(0)	24(21)	28(41)
合計	32(53)	1(6)	98(155)	131(214)

※ () 内は令和元年度の相談実績

(2) 専門相談事業

今年度は、対面での相談が困難であったこともあり、オンラインでの対応をした。

相談内容により、提携する専門家や市内団体に相談員として協力を頂いた。

実績： 32件(うちフォロー7件)

内容： 助成金、会計・税務などの相談が多かった。

2 コーディネート機能

まちづくりミーティングコミュ☆カフェ

全2回 計28名

7/2「センターまつり企画検討ミーティング①」参加14名

8/7「センターまつり企画検討ミーティング②」参加14名

毎年開催してきた「ひらつか市民活動センターまつり」の開催について、昨年度の企画委員と検討を重ね、新しい生活様式にあわせた内容に変更して実施することとした。

3 情報発信機能

オンライン（ZOOM）の活用

- ・相談事業にオンラインを活用するなど、対面しない形でのコミュニケーションをとれるようにした。
- ・連続2回のオンライン（ZOOM）体験講座を計3回実施しており、市民活動団体にもオンラインのノウハウを普及し、団体活動の継続を促した。

4 その他

- ・ひらつか市民活動センターは、次のとおり施設の閉館や時間短縮、制限を実施した。

【4月9日～5月29日】

平日9時～17時 開館

会議室等の利用停止

土・日・祝日 閉館

【5月30日～6月15日】

平日、土、日、祝日 9時～17時 開館

会議室等の利用停止

【6月16日～】

平日、土、日、祝日 9時～22時 開館（通常通り）

会議室等の利用制限（定員の半数）

- ・令和2年4月に「新型コロナウイルス感染症に起因する団体への影響に関して」緊急アンケートを実施。42団体からの回答（回収率42%）。

アンケート実施時点では、約5割の団体が活動を休止し、約8割の団体が新型コロナウイルスの影響を受けていた。

具体的な団体への影響では、「会議・総会が開けない」、「イベントや講座の中止」が多かった。

- ・コロナ対策用にアクリル板の購入、貸出。
- ・令和2年6月8日に株式会社 JAPAN IMEX がマスク1,000枚をひらつか市民活動センターに寄贈いただいた。
- ・センタースタッフの研修の一環として、「若者のボランティア活動への意識、ニーズに関する調査 - 研究 -」を実施。
- ・市民活動推進月間・ボランティアフォーラム（ひらつか市民活動センターまつりの代替企画）を実施予定。

主催 ひらつか市民活動推進月間実行委員会・ひらつか市民活動センター

テーマ 「新しい一歩 ここから広がる輪」

内容 ・ひらつか市民活動推進月間

11月1日（日）～11月30日（月）

【期間中】Webでの団体紹介、チラシ大賞、ひらつかデコレーションマスク大賞など

・ひらつかボランティアフォーラム（参加団体 20団体予定）

11月29日（日）午前10時～午後3時30分

センターHP、SNS、YouTube、zoom等を活用しながら開催。